

総合戦略とは

現在、芝山町を含め地方では、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という悪循環に陥っています。この流れに歯止めをかけ、「地方創生」を達成するためには、地方に新たな

「しごと」をつくり、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込むという好循環が必要です。それによって地方への新たな人の流れが生み出され、「まち」に活力が取り戻され、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境となります。

このように、「まち・ひと・しごと創生」の同時かつ一体的な取り組みを行うべく、国は「まち・ひと・しごと創生法」を定め、地方自治体は地方版総合戦略の策定が努力義務とされました。芝山町でも現在の町の現状を把握し、将来の見通しを検討して解決策を講じるために、「芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」という）を策定しました。

総合戦略を策定するため、町民をはじめ産業界・行政機関・

教育機関・金融機関・労働団体・メディアの人々で組織する「芝山町総合戦略推進会議」（以下、「推進会議」という）を設置し、推進会議に意見を求めながら内容を決めていきました。

それでは、総合戦略の内容を見ていきましょう。

まちづくりのカギは「生涯活躍」

芝山町は、都心から60キロメートルという位置にありながら、自然豊かな大地に農地が広がり、おいしい農産物が多く生産されています。また町内には3つの工業団地があり、多種多様な企業が雇用を生み出しています。

町北側には成田空港と芝山千代田駅という都心や世界とつながる交通インフラがあります。これは、カンントリー（田舎）でもなければアーバン（都会）でもない芝山町の魅力といえます。将来的には、成田空港の機能強化や圏央道のインターチェンジ開設が予定されており、芝山町は交通・物流の要衝としてさらなる発展が期待されます。

このようにみていくと、人口減少が心配される芝山町ですが、多くの可能性を秘めていること

が分かります。総合戦略では、このような可能性を活かし、町内で暮らす人・働く人、移住してこる人、全ての人が生涯にわたり幸福を感じながら活躍できる町、つまり「生涯活躍」を知感、体感できるまちづくりを目標とします。そのために「人を育てる」「しごとの創生」「幸せ感向上に向けたまちづくり」「ひとの流れづくり」「新たな世代への橋渡し」の5つの課題に取り組みます。

次は5つの課題について、概要をご紹介します。



芝山町総合戦略推進会議

まち・ひと・しごと創生法に基づき、芝山町総合戦略の策定および検証のための意見を聴くため、また地方創生の推進を図るために設置された組織。委員は住民をはじめ産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディアの代表者10名で組織され、これまでに2回会議を行いました。



第1回会議の様子（平成27年12月15日）

1. 若い人の創生

①若者・U-I-Jターンの雇用対策の推進

仕事を求めて若者の流出が続く一方、工業団地企業などの町内企業では、人材不足が深刻化しています。工業団地連絡協議会やハローワークなど関係機関と連携し、若者やU-I-Jターンの就業と求人企業のマッチングと住勤隣接を図ります。

また、今後成田空港の機能強化、圏央道整備など町の特性を活かし、本社機能移転を含めた企業誘致を図ります。

②就農支援、農業競争力強化

農業を、若者にも魅力ある力強い産業として確立することに加え、町の基幹産業として持続性ある産業と位置づけて支援します。併せて、地域の農業をけん引する意欲ある人材や企業の経営体など、多様な担い手の確保・育成を図るとともに、生産基盤の確保と既存施設の長寿命化を図ります。

③すべての人が活躍できる社会の実現

仕事を退職した人、高齢者、障害を持った人など、全ての人が活躍できる多様な場の提供を

図ります。さらに、地域活動に関わる人材を養成し、地域の団体との連携を図ります。

2. 人を育てる

①新ビジネス創出支援

若者から退職者までの起業を支援し、地域を支えていく受け皿とし、起業を志す人への啓発や資金援助を図ります。また、小規模事業者が安定的かつ継続的に事業展開できる環境整備や経営能力、資金調達力などの強化を支援し、中小企業などの持続的な発展を図ります。

②女性の活躍推進

女性の活躍推進は、多様な価値観や地域内の多様な人材の確保につながることから、女性の仕事と子育ての両立の支援を図ります。また、出産・子育てを終えた女性や中高年求職者の就労相談支援に取り組みます。

3. ひとの流れづくり

①地域資源を活用した観光振興・スポーツ振興

観光・スポーツによる交流人口の増加を図るため、町の持つ観光資源を活用し、訪れた人々

昨年の10月頃、私に会議の委員就任への打診がありました。悩みましたが、町外から転入してきた私なら、芝山町の良さや悪さが客観的に見られるかと思

い、引き受けることにしました。会議は、昨年の12月に第1回、今年の1月に第2回が行われ、それぞれの分野の代表として出席している委員から、活発な意見が交わされました。また、委員の中には私を含め女性が3人

いますが、女性ならではの目線で意見を言うこともできました。総合戦略には、多種多様な施策と事業が挙げられています。もしかすると、全ての事業を行うのは難しいかもしれませんが、中途半端にせずしっかりと実現していけば、町は活性化すると

「『今あるもの』を

生かしたまちづくりを」



芝山町総合戦略推進会議
会長 坂井 慶子 さん

思います。

私個人としては、新しいものを創るのではなく、今あるものを生かしていくことが大事だと思っと思っています。何が町の魅力となるのかを見極め、これを売り出していき、町の皆さんがそれに興味をもって積極的に参加してもらえれば、素晴らしいと思います。それが総合戦略のテーマでもある「『生涯活躍』を、体感できるまちづくり」につながっていくはずですよ。

「地方創生」と口で言うのは簡単ですが、全国同じような悩みを持つていて、「これだ」という解決策はありません。これを機会に、皆さんが地域づくりに興味を持ち、町の活性化に力を貸していただけたら幸いです。